

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

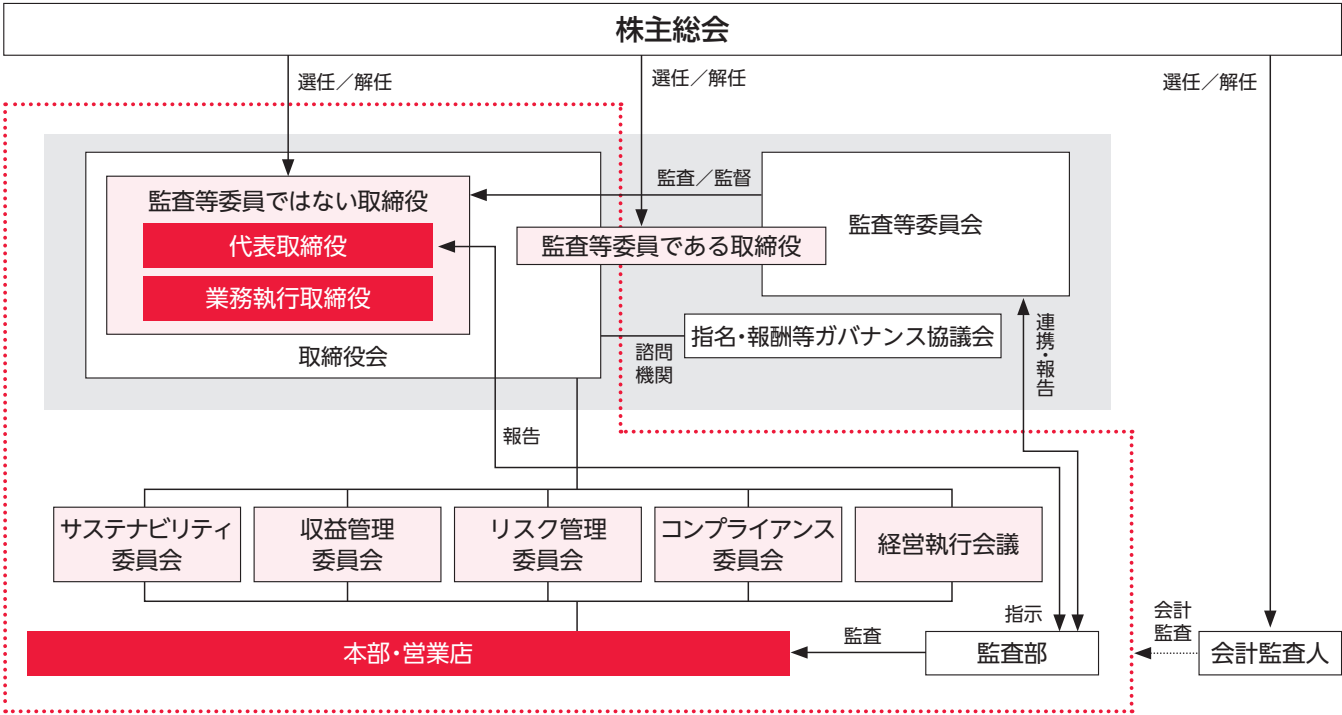
当行は、取締役会、監査等委員会制度を軸として「サステナビリティ委員会」「収益管理委員会」「リスク管理委員会」「コンプライアンス委員会」等を有効活用し、組織横断的な事項に迅速に対応することで、コーポレート・ガバナンスの実効性確保につとめております。

コーポレート・ガバナンス体制の概要

当行は、監査等委員会設置会社を採用し、監査等委員である取締役への取締役会における議決権の付与を通じて、取締役の職務執行に対する監査・監督機能の強化を図っております。また、ガバナンス態勢の客観性及び透明性向上を目的に、互選により選出された社外取締役を委員長とし、頭取、監査等委員会の委員長及び社外取締役から構成される「指名・報酬等ガバナンス協議会」を設置しております。

更に、執行役員制度を導入しており、取締役会で選任された執行役員が業務執行を担当し、業務執行に係る重要な事項については、常務執行役員以上をメンバーとする「経営執行会議」及び組織横断的な事項に迅速に対応するために設置している「サステナビリティ委員会」「収益管理委員会」「リスク管理委員会」「コンプライアンス委員会」等において協議・決定する体制としております。

コーポレート・ガバナンス体制図



取締役会

取締役会は、取締役（監査等委員である取締役を除く）8名、監査等委員である取締役7名（うち社外取締役5名）で構成されております。取締役の選任にあたっては、事業環境及び経営戦略等をもとに当行が期待する専門性・スキルに基づき選定し、当行グループの持続的な発展に資するスキルバランスが取締役会全体で保持されるよう配慮しております。また、その構成について、ジェンダー、国際性、職歴及び年齢等の多様性に留意することとしております。原則として毎月1回開催し、法令または定款で定められた事項のほか、経営に関する重要事項について決議するとともに、取締役の業務執行を監督しております。

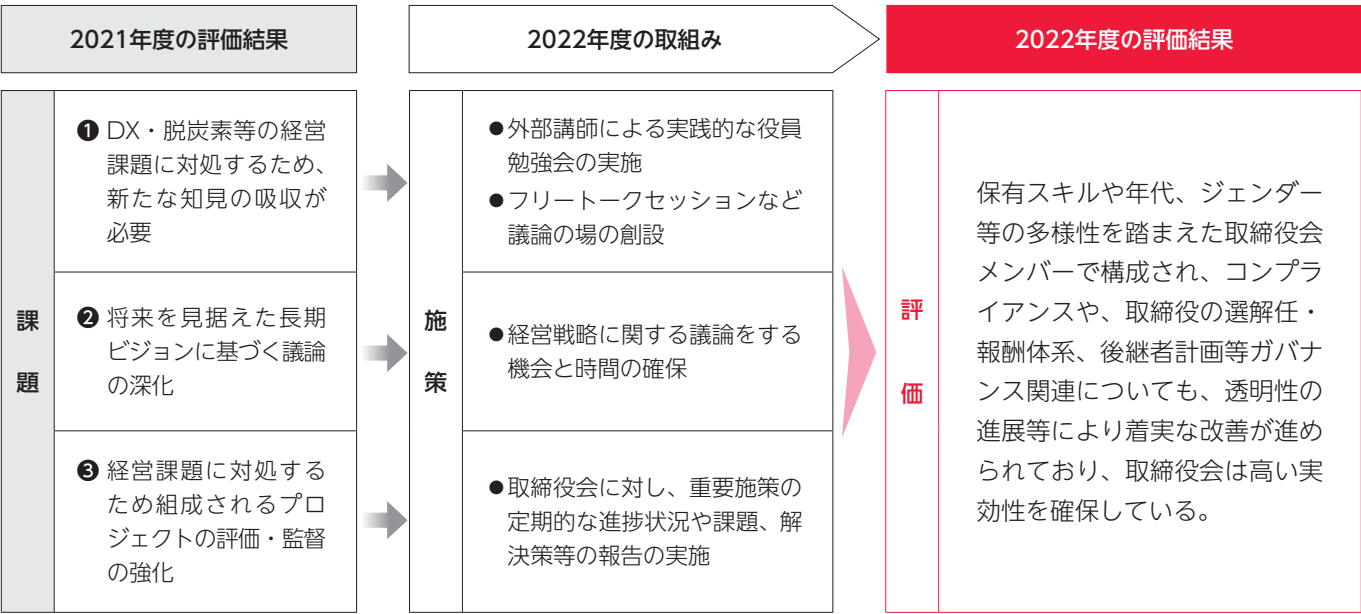
取締役会 2022年度開催回数 12回

＜2022年度の主な審議事項＞

- 百十四グループマテリアリティ及びサステナビリティKPIの決定
- 長期ビジョンの策定
- 中期経営計画（2023年4月～2026年3月）の策定
- 2023年度「コンプライアンスプログラム」実施計画の策定
- 「マナー・ローndリング等防止規定」の一部改定
- 2021年度取締役会実効性評価結果の概要及び対応
- 取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬額の改定
- 取締役（監査等委員である取締役を除く）に対する賞与金等

取締役会の実効性評価

当行では毎年度、取締役全員を対象にアンケートを実施し、その集計結果の分析に基づいて取締役会の実効性を評価しております。取締役会は、評価により洗い出された課題の改善に取り組むことで、取締役会の実効性の向上につとめております。



2022年度に実施した取締役会実効性評価によって認識された課題

- ① 長期ビジョン実現に向けて策定した新中期経営計画の実効性ある進捗状況管理
- ② サステナビリティ経営の実現に向け、非財務指標を含む経営指標を活用した議論
- ③ 人的資本経営を意識した取組みを進め、女性・若手など多様な経営人材層の育成に関与

取締役会のスキル・マトリックス

社内取締役（業務執行取締役及び監査等委員）

氏名	期待する分野				
	経営管理	業務オペレーション	リスクマネジメント	ヒューマンリソース	IT/DX戦略
綾田裕次郎 社内 男性	●	●	●		
香川 亮平 社内 男性	●		●	●	
大山揮一郎 社内 男性	●	●	●		
豊嶋 正和 社内 男性	●		●		●
黒川 裕之 社内 男性		●			
金本 英明 社内 男性		●		●	
多田 和仁 社内 男性	●	●			
森 匡史 社内 男性	●	●	●	●	
組橋 和浩 社内 男性	●		●		
佐久間達也 社内 男性	●		●		●

社外取締役（監査等委員）

氏名	期待する分野				
	企業経営	金融	財務・会計	法務	地方創生
山田 泰子 社外 女性 独立役員			●		●
早田 順幸 社外 男性 独立役員	●	●	●		
藤本 智子 社外 女性 独立役員				●	
小西 範幸 社外 男性 独立役員			●		●
丸森 康史 社外 男性 独立役員	●	●	●		

（注）上記スキル・マトリックスは各取締役が有するすべての専門性と経験を表すものではありません。

● 社外取締役の選任理由

氏名	選任理由	出席状況(2022年度)	
		取締役会	監査等委員会
山田 泰子	香川県に入庁後、環境・福祉・会計等の部署で要職を歴任し、地方行政における豊富な経験と、地方創生や財務会計等についての専門的知識を有し、人格、見識ともに優れております。2019年6月から当行取締役監査等委員をつとめ、当行の経営を適切に監督していることから、同氏が監査等委員として、引き続き独立した立場から、経営監督機能を担うことができるものと判断し、監査等委員である社外取締役として選任しております。	12／12回	13／13回
早田 順幸	日本生命保険相互会社及び企業年金ビジネスサービス株式会社等の経営者としての豊富な経験と、金融や財務会計等に関する豊富な知識を有し、人格、見識ともに優れております。2019年6月から当行取締役監査等委員をつとめ、当行の経営を適切に監督していることから、同氏が監査等委員として、引き続き独立した立場から、経営監督機能を担うことができるものと判断し、監査等委員である社外取締役として選任しております。	11／12回	12／13回
藤本 智子	弁護士としての高い専門性を備えたうえで、香川地方労働審議会委員や高松市環境審議会委員等の公職を歴任してきたことから、法律家としての観点のみならず、行政の現場で培った多様な視点、発想も持ち合わせております。2021年6月から当行取締役監査等委員をつとめ、当行の経営を適切に監督していることから、同氏が監査等委員として、引き続き独立した立場から、経営監督機能を担うことができるものと判断し、監査等委員である社外取締役として選任しております。	12／12回	13／13回
小西 範幸	学識経験者として会計・監査・ガバナンスや地方創生等についての高い専門的知識を備えたうえで、青山学院大学副学長や国際会計研究学会会長等の要職をつとめ、人格、見識ともに優れております。2022年6月から当行取締役監査等委員をつとめ、当行の経営を適切に監督していることから、同氏が監査等委員として、引き続き独立した立場から、経営監督機能を担うことができるものと判断し、監査等委員である社外取締役として選任しております。	9／9回	9／9回
丸森 康史	株式会社三菱UFJ銀行及び三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社等の経営者としての豊富な経験と、金融や財務会計、コンサルティング業務等に関する専門的知識に加えて、地方銀行の社外監査役の経験も有し、人格、見識ともに優れております。当行は同氏の能力、経験を高く評価しており、監査等委員として、独立した立場から、経営監督機能を担うことができるものと判断しております。また、経営者としての経験や知見を活かし、当行経営に資する助言等を行っていただくことを期待し、監査等委員である社外取締役として選任しております。	2023年6月取締役就任	

● 監査等委員会

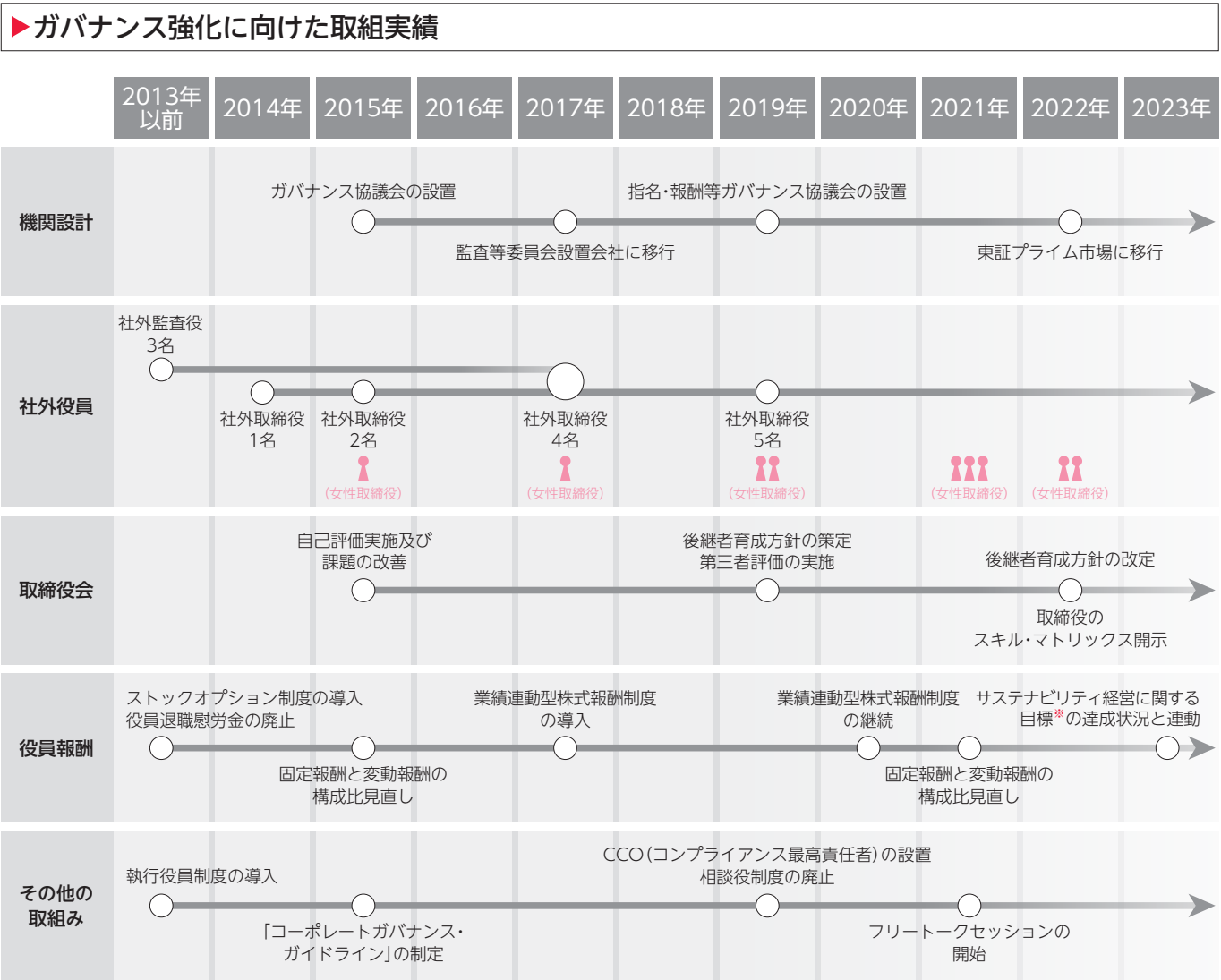
監査等委員会は、監査等委員である取締役7名(うち社外取締役5名)で構成されております。原則として毎月1回開催(2022年度は13回開催)するほか、必要に応じて随時開催し、取締役の職務の執行を監査・監督しております。

● 指名・報酬等ガバナンス協議会(任意の委員会)

指名・報酬等ガバナンス協議会は、頭取、監査等委員会委員長及び独立社外取締役5名で構成され、委員長を独立社外取締役としております。原則として年2回以上開催(2022年度は8回開催)し、取締役会の諮問機関として、取締役候補者の指名及び取締役の解任、代表取締役の指名・解職、監査等委員ではない取締役の報酬等、及びその他ガバナンス及び経営上の重要な事項に関する審議を行い、取締役会はその答申の内容を尊重することとしております。

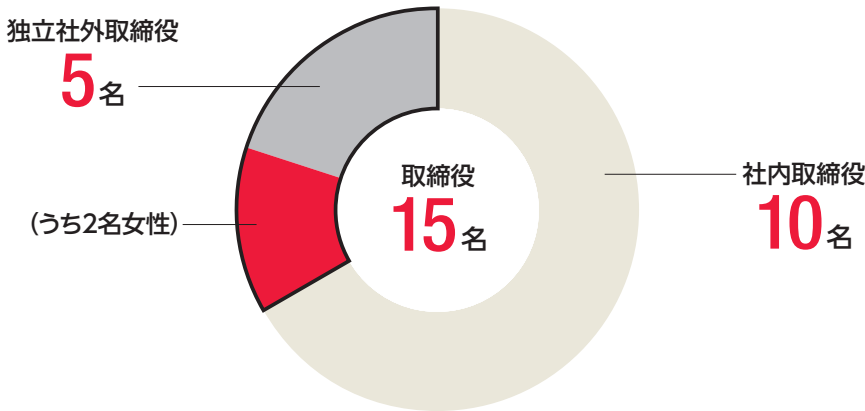
監査等委員会	2022年度開催回数 13回
＜2022年度の主な審議事項＞	
● 監査方針、監査計画の策定	
● 監査等委員以外取締役の選任・報酬に関する意思決定	
● 定時株主総会への付議議案内容の監査	
● 会計監査人の再任決議	
● 会計監査人の報酬等に関する同意	
等	

指名・報酬等ガバナンス協議会	2022年度開催回数 8回
＜2022年度の主な審議事項＞	
● サクセッションプランに基づく候補者選抜アンケートの結果	
● 取締役(監査等委員である取締役を除く)の報酬体系に対する答申	
● 2023年度新体制案(取締役候補、執行役員候補等)	
● 取締役会実効性評価アンケート実施及び結果	
● 長期ビジョン及び中期経営計画策定議案に対する答申	
等	



※ CO₂排出量削減 (E)・女性管理職比率向上 (S)・政策保有株式削減 (G)

● 取締役会の構成



● フリートークセッションの実施

取締役会等の正式な会議体での議論だけでなく、社外取締役と自由闊達に意見交換を行う場として、2021年からフリートークセッションを実施しております。行内の取締役や執行役員、部長、支店長等が参加し、中長期的な視点で議論を行っております。開催回数も増加しており、今後も充実させていく方針です。

フリートークセッション	2022年度開催回数 5回
＜2022年度の主なテーマ＞	
● 長期ビジョン策定に向けた意見交換	
● 次期中期経営計画策定に向けた意見交換	
● デジタル戦略室の取組状況と課題	
等	